

総合計画改定ワークショップ

～10年後の多摩市を考えよう！～

実施報告書

平成 30 年 9 月
多摩市



《目次》

第1章 総合計画改定ワークショップ

～10年後の多摩市を考えよう！～について

1 概要・目的	1
2 当日のスケジュール	1
3 進行・実施方法（ワールドカフェ方式）	2

第2章 開催概要

1 全体概要	3
2 討論の結果	4
3 まとめ・投票結果	8

第3章 各テーブルの模造紙紹介

11



市役所職員 にゃんともTAMA三郎

第1章 総合計画改定ワークショップ ～10年後の多摩市を考えよう！～について

1. 概要・目的

- ・現在、多摩市では、市の最上位計画である総合計画（（仮称）第五次多摩市総合計画 第3期基本計画）を改定しています。これまで、公募市民や学識経験者から構成される「多摩市総合計画審議会」を設置し、今回の改定にあたっての「重要テーマ」を議論してきました。
- ・今回のワークショップは、審議会において検討された「重要テーマ」を、市民の皆さんの目線で自由に議論し、取り組むべき優先度を「投票形式」で判断していただくことを目的に開催するものです。

<重点テーマ>

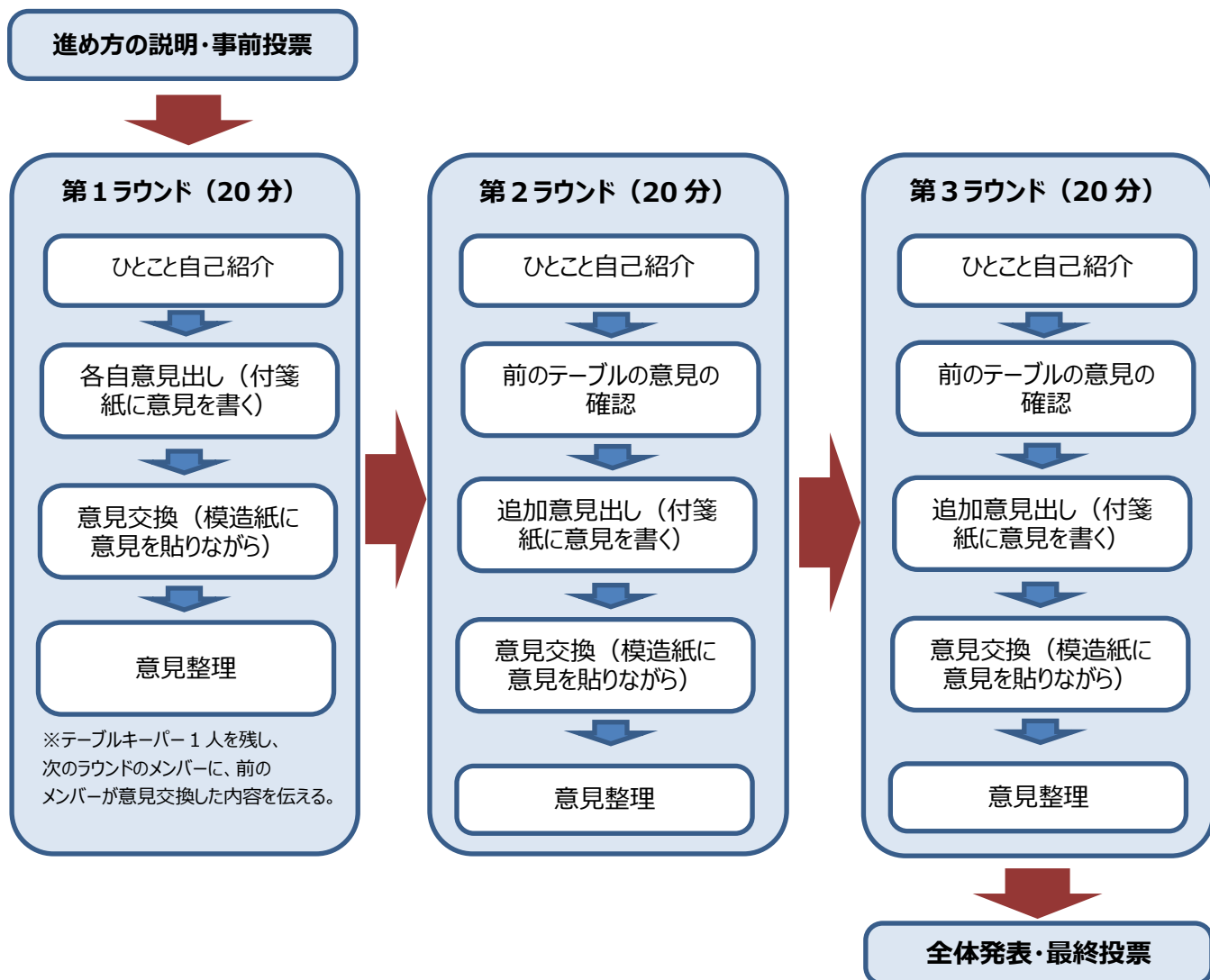
- ① 超高齢社会への対応（健康長寿社会の実現、支え合いの地域づくり、交通、住宅・環境）
- ② 若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるためのまちづくり（子育て・教育、住宅・環境、若者世代の呼び込み・定住促進）
- ③ 地域力の強化（世代を超えた担い手・人材の育成）、まちの活力(地域のつながり、まちの活力)

2. 当日のスケジュール

時間	プログラム
9:40	開場
10:00	開会
10:00	1. 開会挨拶（市民ワークショップの趣旨説明）
10:10	2. 重要テーマ設定の背景・審議会での議論内容の説明
10:25	3. ワークショップ【ワールドカフェ】 ・事前投票 ・進め方の説明 ・第1ラウンド～第3ラウンド（グループ別・各20分） ・全体発表、最終投票、ワークショップまとめ
12:10	4. 閉会挨拶
12:15	閉会



3. 進行・実施方法（ワールドカフェ方式）



●ワールドカフェ方式

- ・市民参画の手法の一つである「ワールドカフェ」方式を採用しました。「ワールドカフェ」とは、話し合いの場において、4～5人の小グループに分け、カフェのようなくつろいだ雰囲気の中で、思いついたことを自由に記載しながら、意見交換を行います。また、度々メンバーを交換する（ラウンドする）ことにより、参加者全員が知識や考えを共有でき、多様な意見の創出が期待できる手法です。



第2章 開催概要

1. 全体概要

(1) 日時	<div><日程1>平成30年8月4日(土) 10時00分～12時15分</div> <div><日程2>平成30年8月11日(土) 10時00分～12時15分</div>																																																																																															
(2) 場所	<div><日程1>パルテノン多摩 第一会議室</div> <div><日程2>関戸公民館 大会議室</div>																																																																																															
(3) 対象者の 選定基準	<div>①住民基本台帳から無作為抽出で選定された2,000人のうち参加を希望する20歳以上の方</div> <div>②「第五次多摩市総合計画・第3期基本計画改定に向けた高校生世代アンケート」の回答者のうち参加を希望する方</div>																																																																																															
(4) 参加者	<div><2日程合計> 43名(男性29名、14名、平均年齢44.6歳)</div> <div><日程1>26名(男性20名、女性6名、平均年齢45.6歳)</div> <div><日程2>17名(男性8名、女性9名、平均年齢43.2歳)</div> <div>【参加者の内訳(2日程合計)】</div> <table><tr><th rowspan="2">年代</th><th colspan="3">男性</th><th colspan="3">女性</th><th rowspan="2">合計</th><th rowspan="2">年代の割合</th></tr><tr><th>合計</th><th>8/4</th><th>8/11</th><th>合計</th><th>8/4</th><th>8/11</th></tr><tr><td>10代</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>2.3%</td></tr><tr><td>20代</td><td>7</td><td>5</td><td>2</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>7</td><td>16.3%</td></tr><tr><td>30代</td><td>4</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>1</td><td>6</td><td>14.0%</td></tr><tr><td>40代</td><td>7</td><td>4</td><td>3</td><td>6</td><td>3</td><td>3</td><td>13</td><td>30.2%</td></tr><tr><td>50代</td><td>4</td><td>3</td><td>1</td><td>6</td><td>2</td><td>4</td><td>10</td><td>23.3%</td></tr><tr><td>60代</td><td>4</td><td>4</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>5</td><td>11.6%</td></tr><tr><td>70代以上</td><td>1</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>2.3%</td></tr><tr><td>合計</td><td>28</td><td>20</td><td>8</td><td>15</td><td>6</td><td>9</td><td>43</td><td>-</td></tr></table>									年代	男性			女性			合計	年代の割合	合計	8/4	8/11	合計	8/4	8/11	10代	1	0	1	0	0	0	1	2.3%	20代	7	5	2	0	0	0	7	16.3%	30代	4	3	1	2	1	1	6	14.0%	40代	7	4	3	6	3	3	13	30.2%	50代	4	3	1	6	2	4	10	23.3%	60代	4	4	0	1	0	1	5	11.6%	70代以上	1	1	0	0	0	0	1	2.3%	合計	28	20	8	15	6	9	43	-
年代	男性			女性			合計	年代の割合																																																																																								
	合計	8/4	8/11	合計	8/4	8/11																																																																																										
10代	1	0	1	0	0	0	1	2.3%																																																																																								
20代	7	5	2	0	0	0	7	16.3%																																																																																								
30代	4	3	1	2	1	1	6	14.0%																																																																																								
40代	7	4	3	6	3	3	13	30.2%																																																																																								
50代	4	3	1	6	2	4	10	23.3%																																																																																								
60代	4	4	0	1	0	1	5	11.6%																																																																																								
70代以上	1	1	0	0	0	0	1	2.3%																																																																																								
合計	28	20	8	15	6	9	43	-																																																																																								



2. 討論の結果

(1) 意見の整理と発表の方法

- ・付箋紙に意見を記入し、模造紙に貼り付ける。
- ・模造紙はラウンドごとに新しいものに取り替えることはせず、新しい意見を重ねていく（ラウンドごとに付箋紙の色を変え重ねて貼り付けていく）。
- ・各ラウンドの対話の主眼は次のとおり。
 - 1 ラウンド目：多様な意見に触れる
 - 2 ラウンド目：意見の掘り下げや追加により対話を深める
 - 3 ラウンド目：更に掘り下げつつ、それまでの対話のポイントをまとめる
- ・3 ラウンド目終了後、簡単な発表を行っていただく。

(2) 重点テーマごとの各グループの意見

グループごとに話し合ったテーマについて意見をまとめていただき、発表をしていただきました。

<日程 1：8 月 4 日開催分 @パルテノン多摩 第一会議室>

テーマ	グループ	ご意見（発表内容）
超高齢社会への対応	グループ A	<p>「商店街活性化」「坂・移動」「買い物」「コミュニティ」「安心・安全」「医療」「老人ホーム」「制度」という意見が出ました。</p> <p>「みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩」という将来都市像は長い感じがしますので、「にこにこ たまし」がよいのではないのでしょうか。</p>
	グループ B	<p>議論で出た項目は 5 つです。</p> <p>1 つ目が「施設の充実」ということで、歩道、橋、階段の整備などです。主に団地などでは階段が多く高齢者に負担がかかるので、改修等が必要なのではないかと考えました。</p> <p>2 つ目が「発言の場」で、高齢者になると話し合いの場、コミュニケーションをとる場が少ないということで、集まって意見交換できる場を提供するのが重要なのではという意見がありました。</p> <p>3 つ目が「情報」で、今はネット社会になり、スマホやインターネットでないと情報が中々入ってこない、発信出来ないと思うので、高齢者の方も情報が扱いやすい環境をつくるのが大事だということです。</p> <p>4 つ目が「医療」ですが、病院等が高齢者専用の時間を作る、保険料を安くするなどの仕組みが出来ないかということです。</p> <p>高齢者の方が寝たきりなどにならないように集まれるような仕組みもよいのではないかと考えます。</p> <p>最後に「お金」ですが、高齢者の方にもっとお金を使ってもらえれば経済的にももっと潤うのではないかという意見もありました。</p>

若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるためのまちづくり	グループC	<p>話し合った内容は大きくは3つありまして、まず「公共施設の充実」、多摩市には公園は沢山あると思うのですが、緑が多だけで遊具などは充実していますが、どう使ってよいのかわからないといったことがあります。公園の緑のメンテナンスがされていないということもあるので、遊具の充実やメンテナンスをしっかりといただくことで、公共施設の充実を図っていききたいと思います。</p> <p>花火が出来る公園があるとよいといった意見もあったので、公園ごとにそういった特徴も出していければよいのではと思います。</p> <p>「保育園、待機児童問題」は多摩市も深刻な状況で、駅にある保育所に人気集中していて、団地の近くにあるような大きな保育園は人気がなく、家からも駅から遠いために預けられないといった状況もあります。</p> <p>そういったことから、市が運営する等して保育園送迎サービスができるとよいのではとの意見もありました。</p> <p>「子どもと高齢者の交流が少ない」との意見も、これが「多世代の交流」なのですが、ありました。自治会などを開いて交流を持たせるということもありますが、保育園の送迎サービスを元気な高齢者の方に担っていただく等も出来るのではないかと思います。</p> <p>公園にしても送迎サービスにしても、新しい建物を作るのではなく、今あるリソースを活かせば、交流も兼ねてこういったサービスが作れるのではないかと考えています。</p>
	グループD	<p>具体的な案としては、保育所の充実を図ることで親や外部からの子育て世代の受入に繋げて行くことが出来ればよいと思います。短時間でも子どもを預けることが出来たり、保育所に駅から送迎出来るような機能を作れば、保育所の希望者のばらつきもなくなり、平均的に増えるのではないかと考えます。</p> <p>子育てに関するコミュニティでは、安心・安全なまちづくりということです。</p> <p>高齢者が子どもの見守りや遊びを教えてあげるなどの、地域と子どもが集まれるコミュニティや、多摩市は大学が多いので、大学生と子どもが遊べるような学習などもあればコミュニケーションが取れてよいのではないかと思います。</p> <p>施設の充実では公園、図書館、医療機関等の充実といった希望が出ていますので、そういったことで子どもにとってより良い多摩市として認められていくのではと考えます。</p>
地域力の強化 (世代を超えた担い手、人材の育成)、まちの活力	グループE	<p>「地域の強化」ということで、「駅の活性化」「施設の充実」「情報の充実」「公園の改善」「防災」「地域のつながり」「まちづくり」「サービス業を中心とした企業誘致」に分かれました。</p> <p>その中でまとめとして、ポイントは①駅の活性化、多摩らしい駅周辺の整備、②地域のつながり、まちづくり・寺子屋、③公園の改善というテーマが決まりました。</p>
	グループF	<p>こちらのグループでは「わざわざ来たいと思えるまちづくり」ということで、「企業誘致」「交通整備」「コミュニティ」、更には「場所や盛り上がり」「高齢化」「教育」が重要なのではないかと思います。</p> <p>そのためには地元で働ける企業を誘致すること、今までにある団地や商店</p>

	街、公園を上手く活用する、活用して活性化していくという意見が出ました。 更には、バスの自動運転などを誘致して積極的にやっていく、モデルになるようなまちづくりが必要だと考えました。また、宿泊など、若者や他のエリアから人を呼べるようなものが必要であるとの意見が出ました
--	---

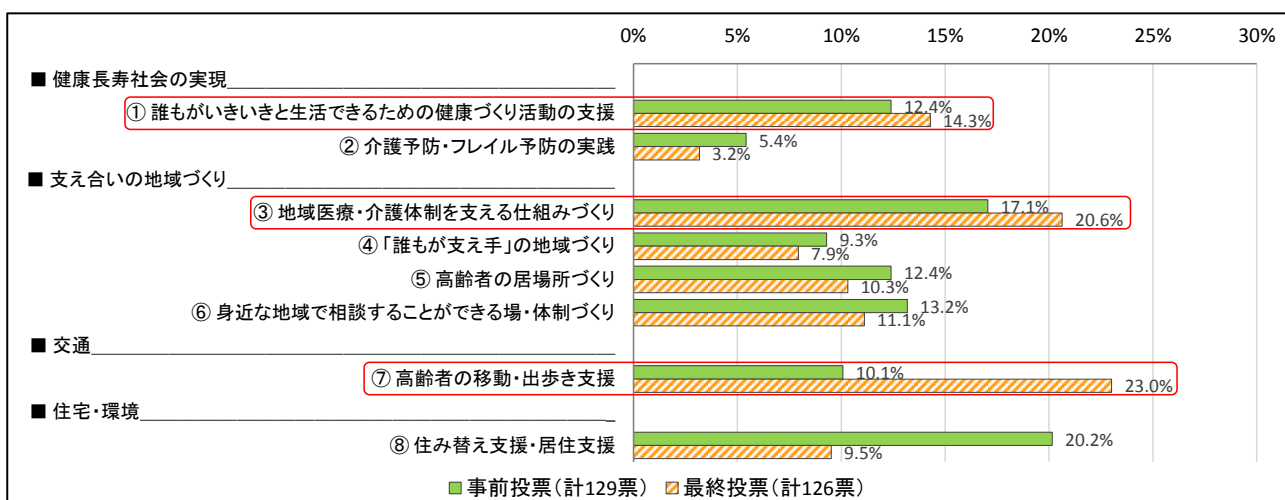
<日程 2 : 8 月 1 1 日開催分 @ 関戸公民館 大会議室>

テーマ	グループ	ご意見（発表内容）
超高齢社会への対応	グループ A	<p>超高齢化社会への対応ということで、多摩は一昨年でニュータウン 40 周年を迎えるということですが、今 70 代、80 代のお年寄りの方が増えている中で一番の問題は、山を崩して作ったニュータウンということで、坂の問題ということは避けられません。何をするにも坂がポイントになってくる地域です。それへの対応で、例えば緩やかなスロープとか、坂道で急なところには手すりをつけるとか、お年寄りが一々休めるスペースを作るとか、坂についての対応をして欲しいです。ニュータウンが 40 周年ということで 70 代、80 代のお年寄りの方でだんだん一人暮らしをしている方が増えていることも問題になってきます。それに対して若者も地域の方もですが、一人暮らしのお年寄りの方にコミュニケーションを作りやすくする必要があります。そういうことがしやすい地域づくり、例えば介護サービスをやっている施設の見学会や、その中でどういったことをやっているのかをもっと市民の方に見学する会を催したり、色々な形の広報で発信してもっとボランティアを募ったり。お年寄りにもっと関心を持ってもらわなくてはならないのではないのでしょうか。</p>
	グループ B	<p>高齢者の支援ということで、実際の高齢者の方の声を大切にしていけることが大事ではないでしょうか。グループ A の方が話していたように、坂が多いのではないかと、バスを増やしていく必要があるのではないかと話に上がりました。団地でエレベーターのないところもあり、上の階に高齢の方が住んでいるとなかなか外出できません。施設から戻るときも、団地の上なのでなかなか戻れません。そこで上の階の方と下の階の方を業者の力でシャッフルできないでしょうか。孤立しがちの高齢者の支援のために、医療やケアマネや訪問看護の制度を充実させて、質も色々あるので全体的に上がっていけばいいと思います。支援の充実について買い物に行けない人のために若い人がボランティアとして代わりに行くシステムがあればいいと思います。若い方がお年寄りのところへ行くようになればいいと思います。</p> <p>情報については、高齢者の方が実際に見た時に理解できなかったりしています。新しいスマホとかアプリ等は分からないことが多いです。そういう広報を、情報をどのように伝えていくのが大事になります。またどっちかというとアナログのほうが良いのではないかとも思いました。</p> <p>最後に「お金」ですが、高齢者の方にもっとお金を使ってもらえれば経済的にももっと潤うのではないかという意見もあがりました。</p>

<p>若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるためのまちづくり</p>	<p>グループC</p>	<p>グループCは若者世代、子育て世代の幸せに暮らせるための街づくりについて議論があったのですが、幸せに暮らせるというのはどういうことかという、地域交流をどのグループでも求めているというところから、地域交流のあり方を考え直すところがある、部活単位で参加するのか、広域地域連合単位で参加するのかということです。地域交流があると盛り上がるのではないのでしょうか。</p> <p>PRについては、広報は街などで見れるが、もっと若者世代と子育て世代に受け取りやすいデジタルなPRが必要ではないか。イベントをどこで情報を入手するのか分からないと感じている人もたくさんいました。また公園はたくさんあったりテニスコートはたくさんあるが、テーマが決まった野球場やサッカーコートが少ないので、もっと子どもや若者に向けて施設を作っていくべきではないのでしょうか。</p>
	<p>グループD</p>	<p>若者世代と子育て世代について話し合いました。公園が充実しているとか、子どもの病院や出産の対応は恵まれているのではないかと話などが挙がっていました。特に話が挙がったのは育児の問題についてです。</p> <p>多摩市に住んでいると仕事場が都心になることが多くなるため、通勤時間が長くなる方が多いため、働いている方が育児に参加できず、もう一方の親の“ワンオペ育児”になることが多く、育児される方の負担が大きくなっています。ワンオペ育児など、育児に困っている家族への対応が大切なのではないかと考えました。地域だけで解決できるものでもないですが、地域的なサポートの仕組みが、働き方改革等とも関連しながら出来たら良いと思います。</p>
<p>地域力の強化（世代を超えた担い手、人材の育成）、まちの活力</p>	<p>グループE</p>	<p>地域力の強化（世代を超えた担い手人材育成）、まちの活力ということで、その中でこうしたら良いのではないかと三つあります。</p> <p>一点目は、産業力の向上です。二点目は、働き口を増やして住んでもらうというような意見です。三点目は、外で接点を持つためにどのような仕掛けができるかということです。一点目の産業力の向上というところでは、多摩の地域で新しい産業が生まれていないのではないかと話です。つまり産業力が弱いと都市の魅力も落ち、市に落ちるお金も少なくなってしまうのではないのだろうかということです。だからまずは産業力が重要ではないか、と。産業力を増やすことができれば、自ずと働き口が増えるのではないのでしょうか。働き口が増え魅力ある都市になれば、多摩に住んでもらえるのではないのでしょうか。</p> <p>一方で人の話については、高齢化が進んできていて、放課後学習教育のような高齢者の方が小学生に何かを教えるような場に、高齢の方が自発的に手を上げていかないとなかなか高齢の方が外に出て行くことが出来ません。高齢者に限らず若者も含めて、外で接点を持つために、市のほうで何かしらの仕掛けを講じて、人とのつながりが希薄になっている部分もあるので、そこを強化していく必要があるのではないかと思います。</p>

3. まとめ・投票結果

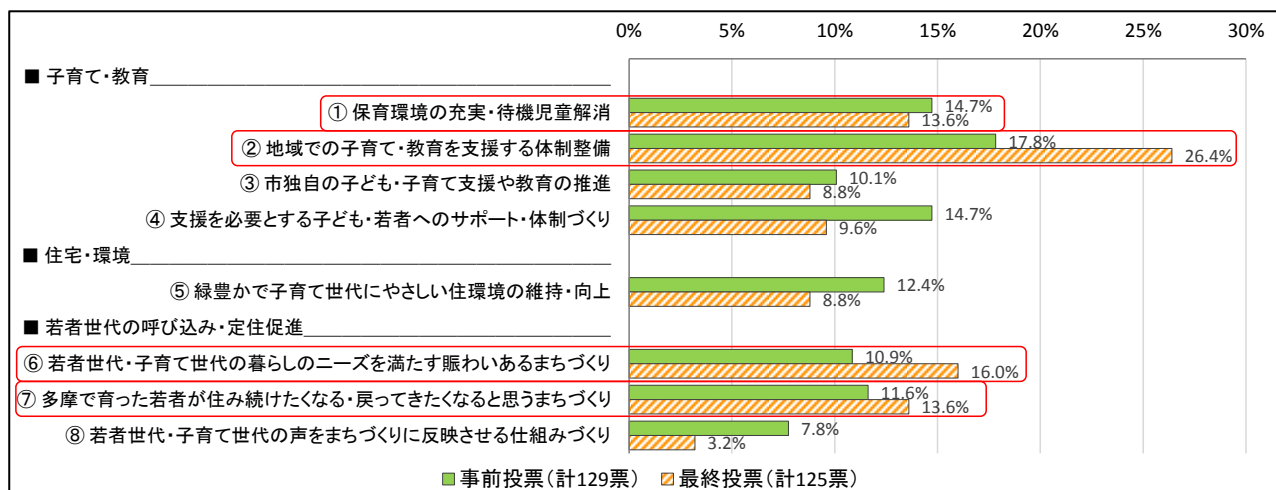
<基本的な考え方 1. 超高齢社会への対応>



<主な意見>

- ・市内は坂道が多く対応が必要。高齢者が移動しやすいよう団地等での歩道、橋、階段の整備・改修が必要。
- ・高齢者になるとコミュニケーションをとる場が少ないため、高齢者の孤立の予防のため、集まってコミュニケーションできるような場づくり、地域づくりが重要。
- ・高齢者向け施設の見学会等により、高齢者にもっと関心を持ってもらいボランティアを募集してはどうか。
- ・スマホやインターネットが活用できないと情報が入手しにくい。高齢者も情報を扱いやすい環境づくりが重要。高齢者向けには従来通りの情報発信も必要である。
- ・病院等に高齢者専用の時間帯を設ける等して、高齢者が受診しやすくする仕組みが出来ないか。

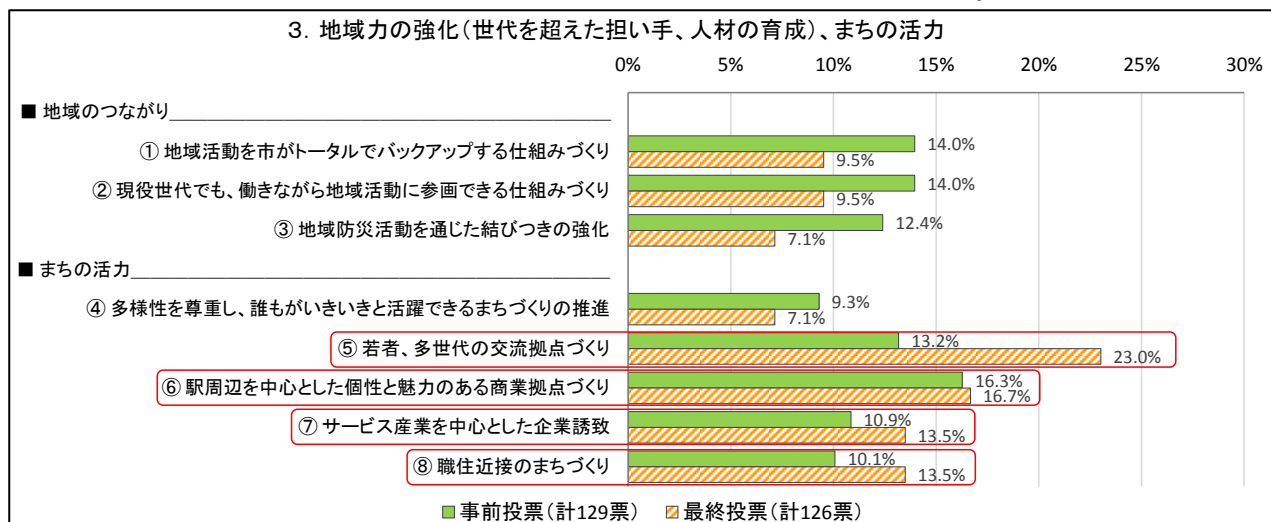
＜基本的な考え方 2. 若者世代・子育て世代が幸せに暮らせるためのまちづくり＞



＜主な意見＞

- ・公園の適切な管理や遊具の充実等による魅力アップが必要。また公園ごとに特徴を付けてはどうか。
- ・テーマの決まった野球場やサッカーコートが少ない。もっと子ども・若者向けの施設を作っていくべきではないか。
- ・駅周辺の保育所へのニーズ集中を緩和するため、短時間の保育や駅から遠い園への送迎サービス等を市で運営できるとよい。保育所の充実により子育て世代の受入に繋がればよい。
- ・子どもと高齢者の交流が少ないため、例えば保育園送迎サービスを高齢者に担ってもらうのはどうか。新たなハード整備ではなく、既存の人材や資源を活用すれば、サービス向上と同時に多世代交流の促進も図れる。
- ・高齢者や多摩市に多い大学生が子どもと遊んだり教えたりする場や地域のコミュニティづくりを進めるべき。
- ・地域交流を皆求めている。部活単位から多摩地域等の広い単位まで、様々な地域交流があると盛り上がるのでは。
- ・若者・子育て世代にデジタル媒体での情報発信をもっと行うべき。情報がどこで入手できるのか分からない。
- ・都心への長時間通勤等により片方の親が育児に参加できない等、育児に困っている家庭を地域でサポートする仕組みが、働き方改革等とも関連しながら出来ればよい。

<基本的な考え方 3. 地域力の強化（世代を超えた担い手、人材の育成）、まちの活力>



<主な意見>

- ・駅の活性化（多摩らしい駅周辺の整備）、地域のつながり（まちづくり・寺子屋）、公園の改善がポイントとなる。
- ・「わざわざ来たいと思えるまちづくり」として、「企業誘致」「交通整備」「コミュニティ」、更には「場所や盛り上がり」「高齢化」「教育」に関する取組が重要。そのためには地元での雇用の創出、今ある団地や商店街、公園の活用が必要。
- ・バスの自動運転等を誘致して、モデルとなるようなまちづくりを積極的に進めるべき。
- ・宿泊施設など、市外から若者等を呼べるようなものが必要。
- ・産業力の向上による雇用の創出と、高齢者と社会の接点づくりが大切。
- ・産業力を高めることが重要。産業力が高まれば都市の魅力が上がり、市の収入も増え、自ずと雇用創出、人口流入に繋がる。
- ・自発的に手を上げなければ高齢者が社会と接点を作ることが難しい。市で仕組みをつくって繋がりを強化する必要がある。

基本的な考え方 1. 超高齢社会への対応

重要テーマ（案）について

・どの重要テーマ（案）が特に重要？

・具体的にはどのような取組が必要か？

・他に重要課題はあるか？

商店街

仕事

健康

コミュニティ

健幸づくり

集会所をより気軽に集える場に

商店街

買い物

配達制度の充実

商店街活性化

坂・移動

坂道自転車大変地域をめぐるバス・タクシーの競合

バリアフリーの推進

いいね！

公園を活用（目的を持たせる）

自発的に集まれる場づくり

いいね！

コミュニティ

お茶の時間をつくってもいいかと

廃校の利用

安心・安全

安心なしくみ
制度・施設

安全な公園を！
緑が多くても
夜が安心

避難所が坂道を登らないと行けない
老人に辛い！

多摩中央
宝野
奈良原
鶴牧東
鶴牧西

安心安全な公園

医療

病院不足？
高齢者のコミュニティ
坂道（電動自転車補助）

病院不足
・緊急医療
・日医大難しい
・夜間対応できない

医療（救急）の充実と交通網の利便性

老人ホーム

老人ホームの充実

制度

65才以上の方がボランティアをポイント実施中
手助けをポイント化
↓
自分が施設 etc で使える しくみ

まとめ

にこ
にこ
たまし

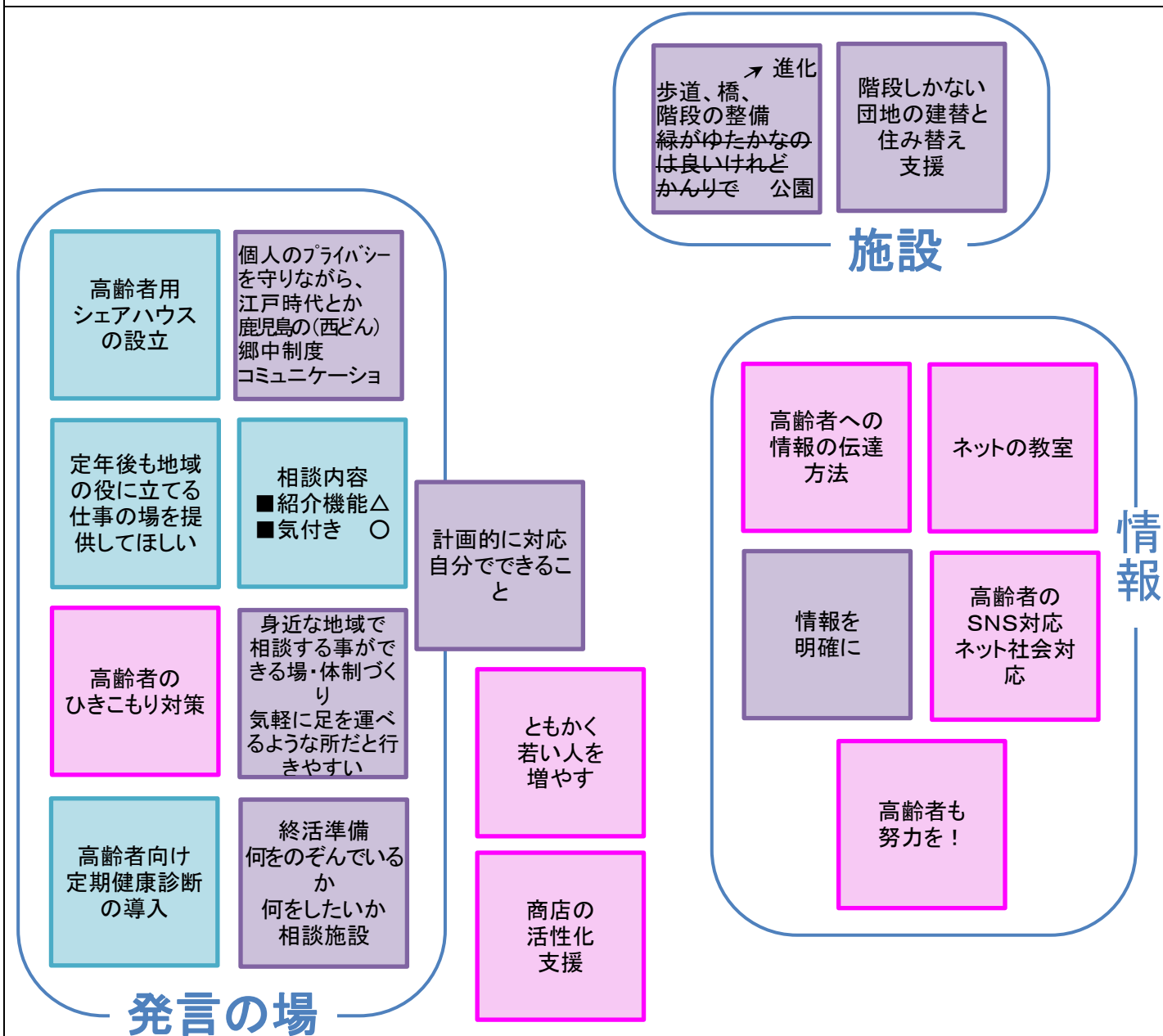
健康環境教育

しんぶん

基本的な考え方1. 超高齢社会への対応

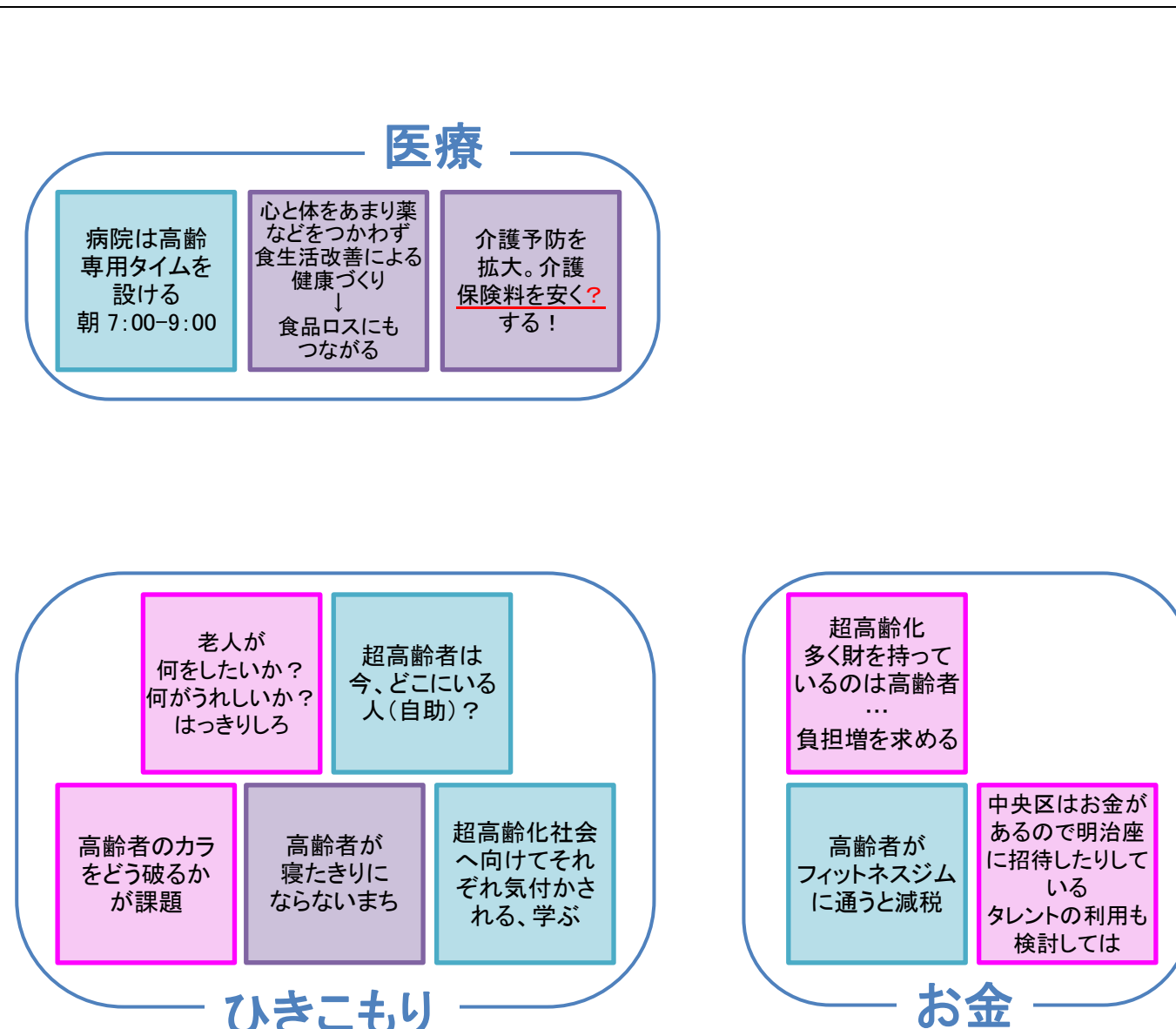
重要テーマ（案）について

- ・どの重要テーマ（案）が特に重要？
- ・具体的にはどのような取組が必要か？
- ・他に重要課題はあるか？



市民や地域などの役割について

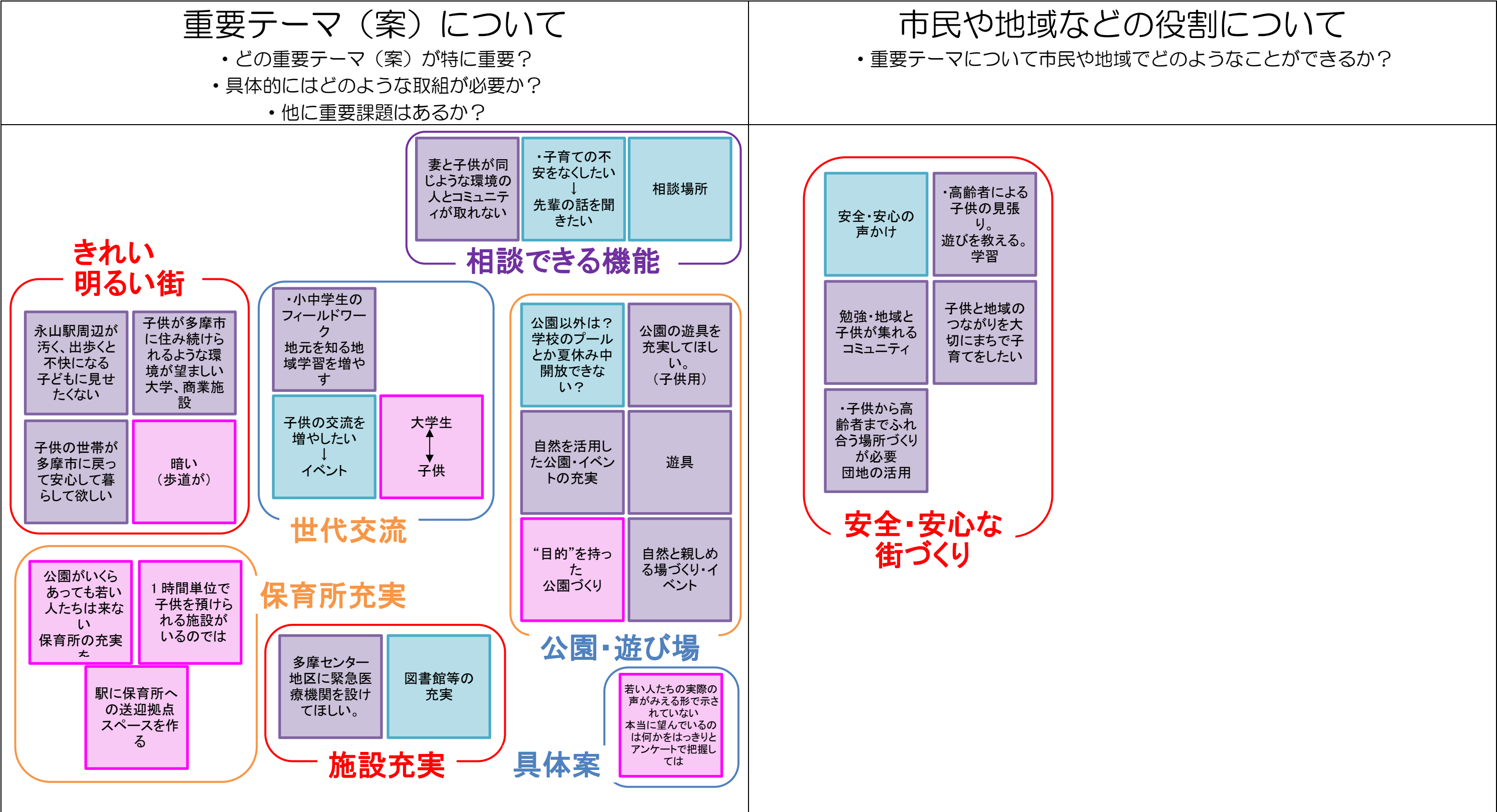
- ・重要テーマについて市民や地域でどのようなことができるか？



まとめ

- ・情報を明確→SNS 対応
- ・高齢者にもっとお金を使ってもらう
- ・ひきこもり対策→自分から本音を言えるように発言の場

<div>重要テーマ（案）について</div> <div><ul style="list-style-type: none">• どの重要テーマ（案）が特に重要？• 具体的にはどのような取組が必要か？• 他に重要課題はあるか？</div>	<div>市民や地域などの役割について</div> <div><ul style="list-style-type: none">• 重要テーマについて市民や地域でどのようなことができるか？</div>
<div><div>保育園の送迎サービス</div><div><div>・保育園の充実</div><div>保育園の送迎バスサービス</div><div>駅に</div><div>・子育て支援 ・子どもを育てやすい環境</div></div></div> <div><div>自治会の役割</div><div>自治会に入ったら交流できました。（地域によっては）</div></div> <div><div>もっと活用</div><div>・子どもと高齢者が触れ合う機会の場作り</div><div>安全・安心な多世代連携なまちづくり</div><div>3つの教育「協育」・・・「共育」・・・「郷育」・・・</div><div>学校教育 私立 個性で 市立 通学 学校を通してのオレ、オマエの関わりが薄い 故郷意識が薄い ↓ 部活においては先輩、後輩意識が残っているが・・・</div></div> <div><div>公共施設の充実</div><div><div>自慢できる公共施設がない！</div><div>公園遊具を充実させてほしい</div><div>緑は多いが充実している公園が少ない</div><div>駅から離れる程閑散としてる印象 既存ストックを活かした取組</div><div>多摩は「これだ」という特徴がナイ！</div><div>自分が住んでいる周辺環境には満足しているが・・・子育てには良いかと</div><div>造って終わりにしないでメンテナンス</div><div>花火のできる公園があるといい。 (目的別の公園)</div></div></div>	
<div>まとめ</div>	
<div>保育所への送迎</div>	<div><div>超重要！</div><div>子どものいない人達と子育て世代との交流もあって良いと思います</div></div>



重要テーマ（案）について

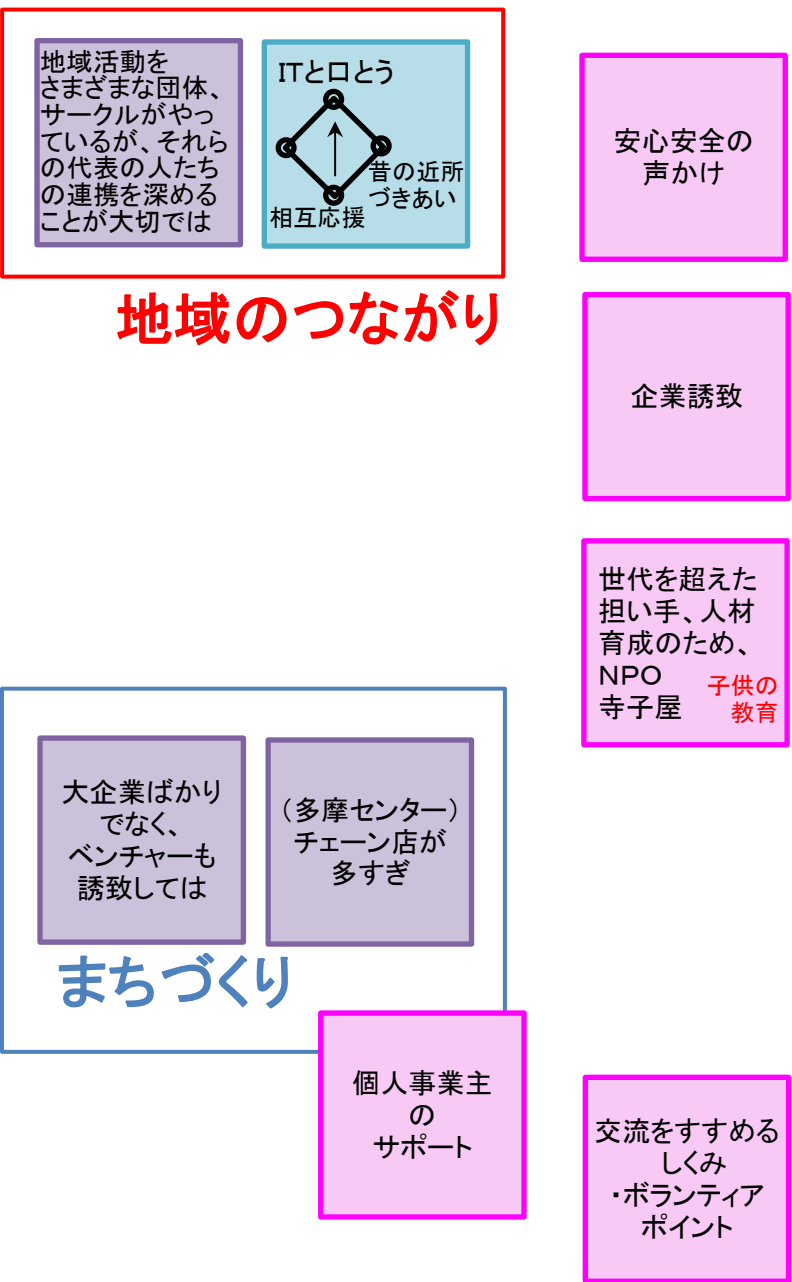
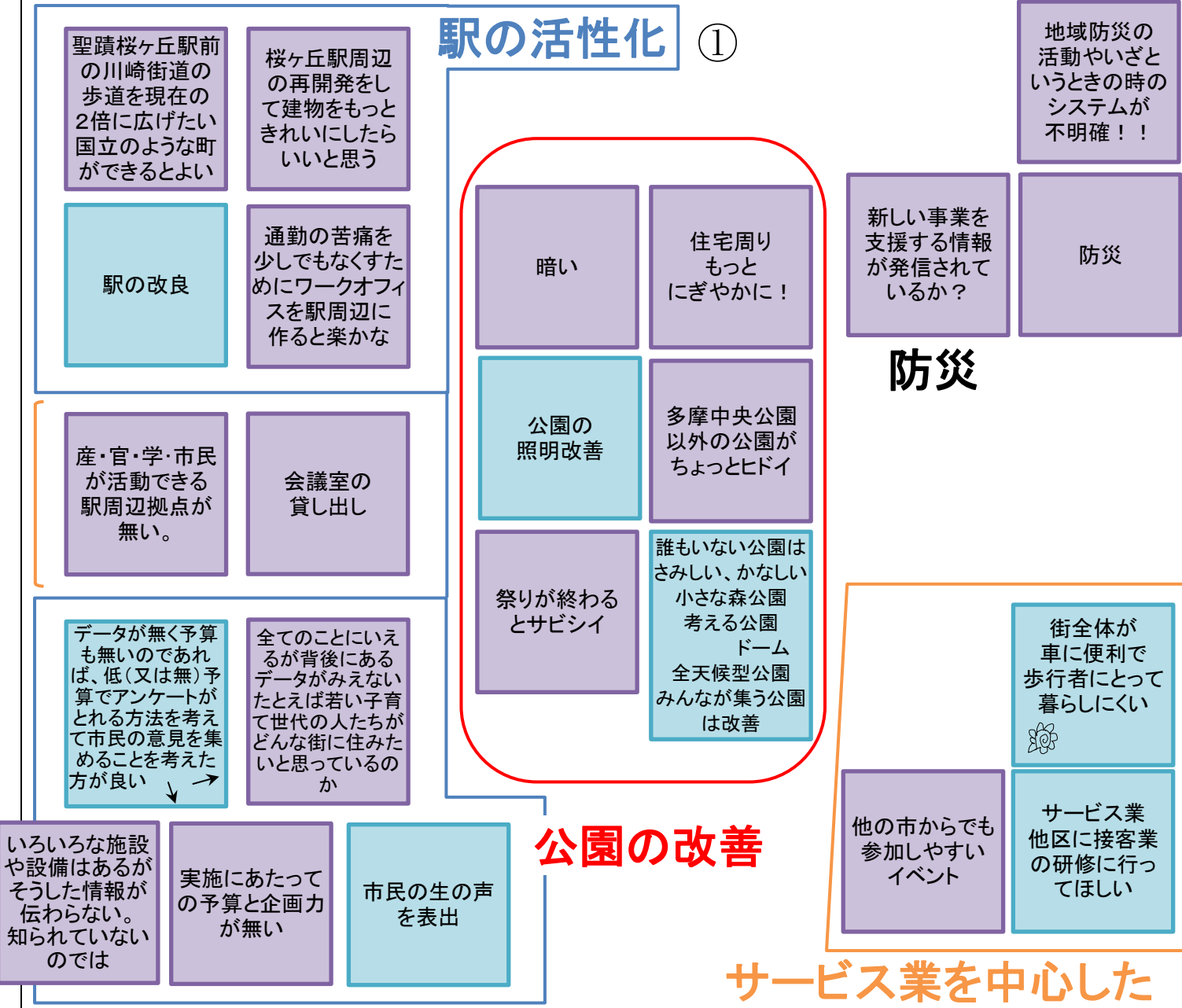
- どの重要テーマ（案）が特に重要？
- 具体的にはどのような取組が必要か？
- 他に重要課題はあるか？

市民や地域などの役割について

- 重要テーマについて市民や地域でどのようなことができるか？

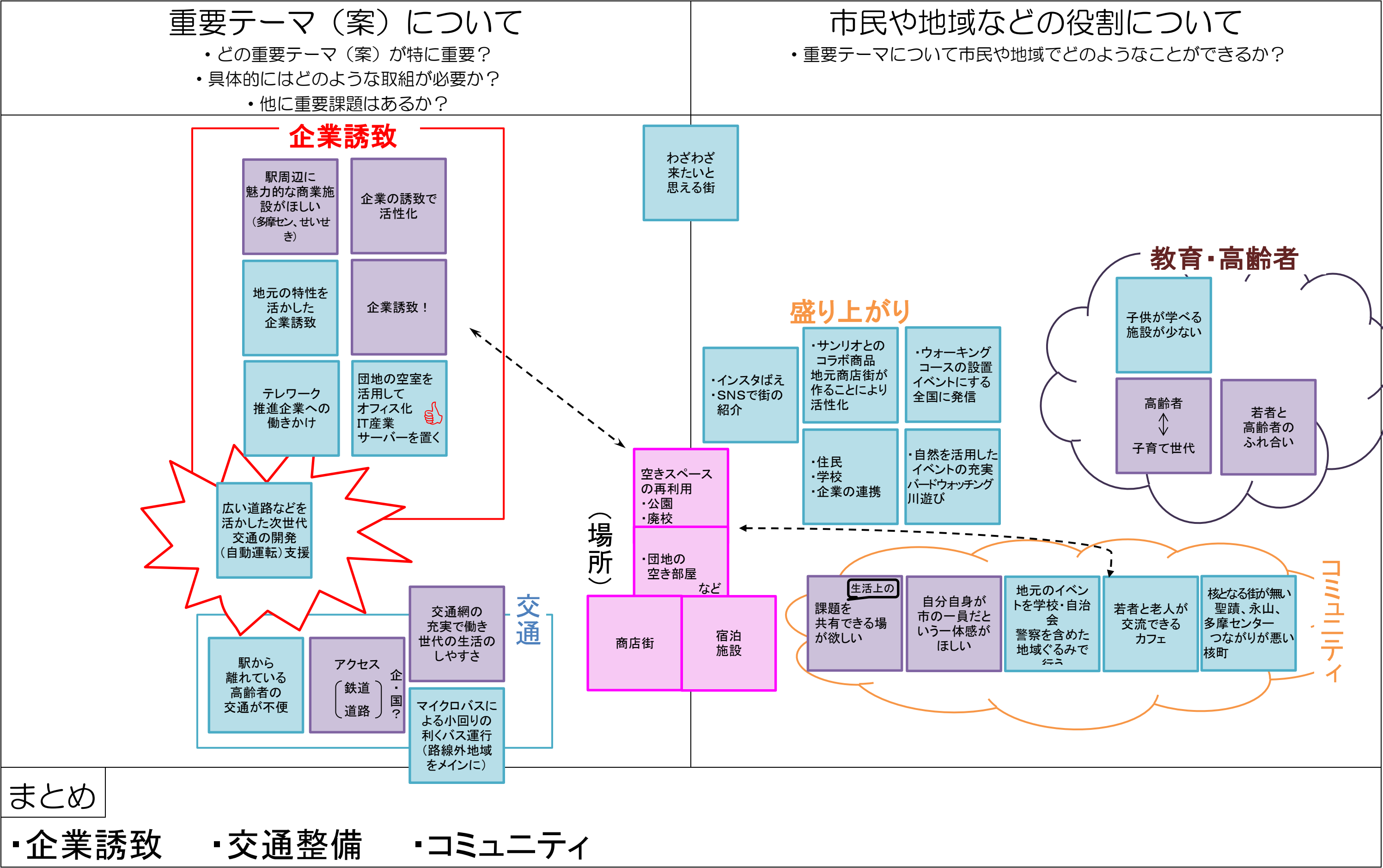
施設の充実

駅の活性化 ①

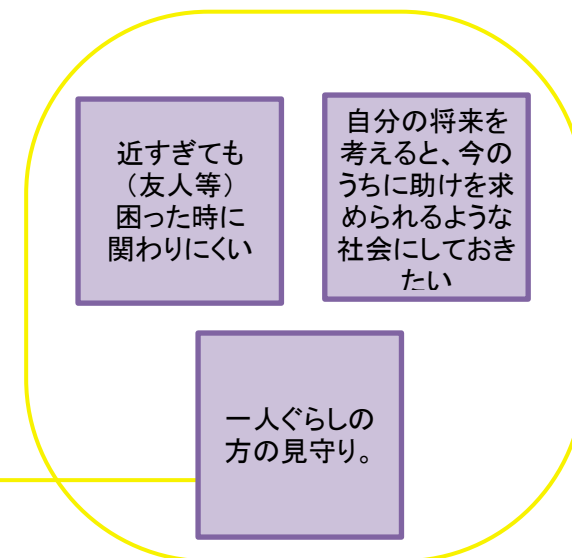
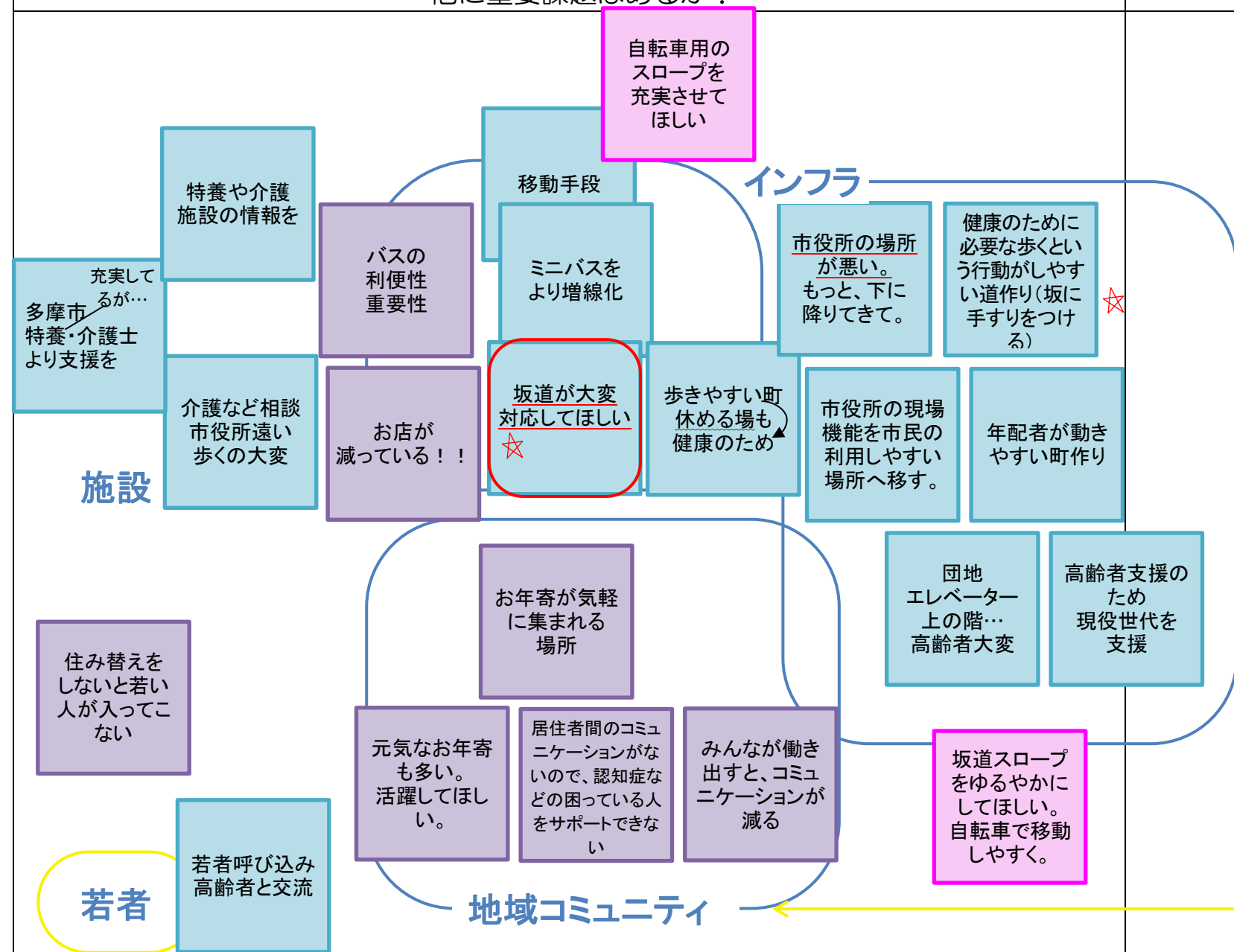


まとめ

①駅の活性化（多摩らしい駅周辺の整備） ②地域のつながり（町づくり・寺子屋） ③公園の改善



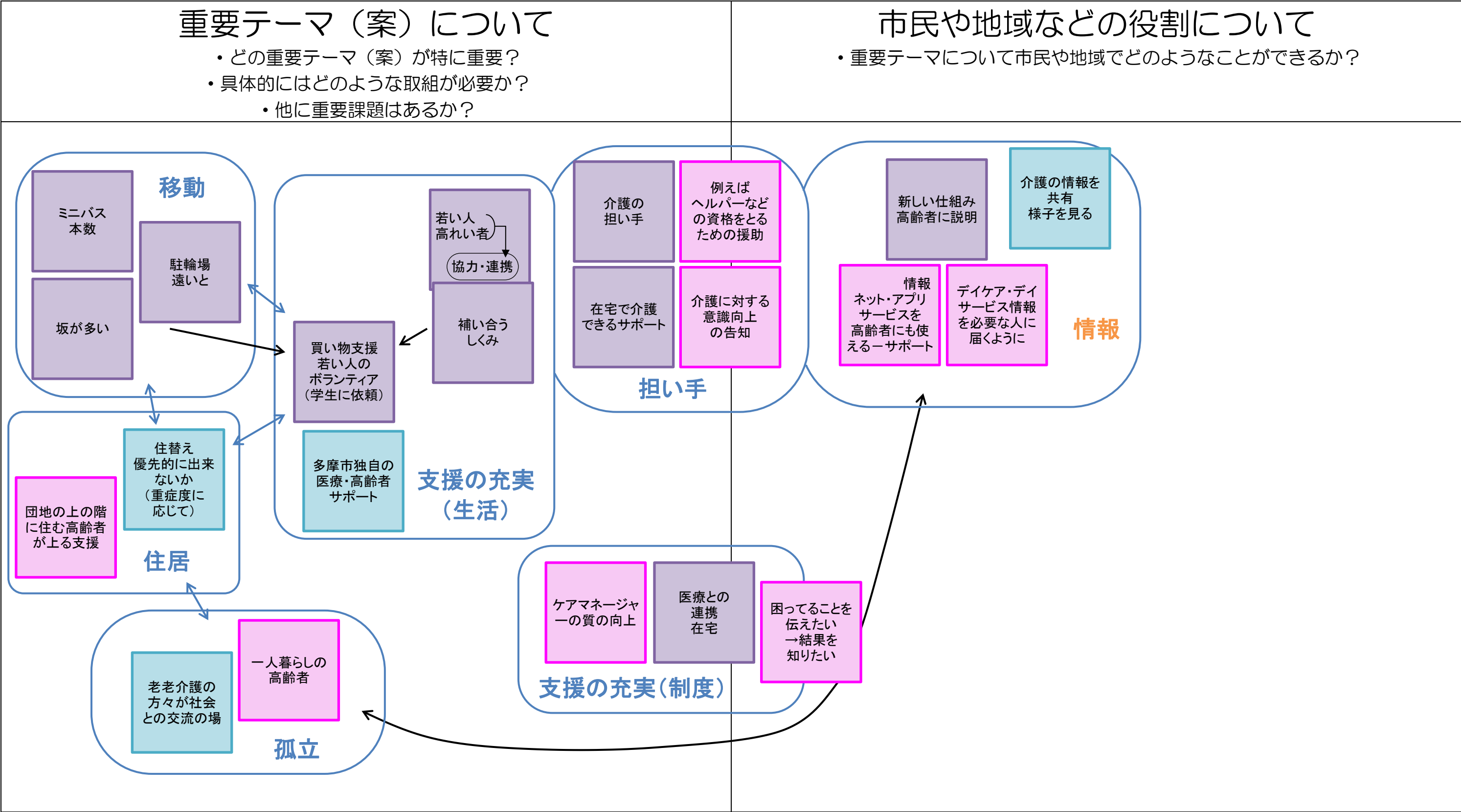
- ・重要テーマについて市民や地域でどのようなことができるか？



まとめ

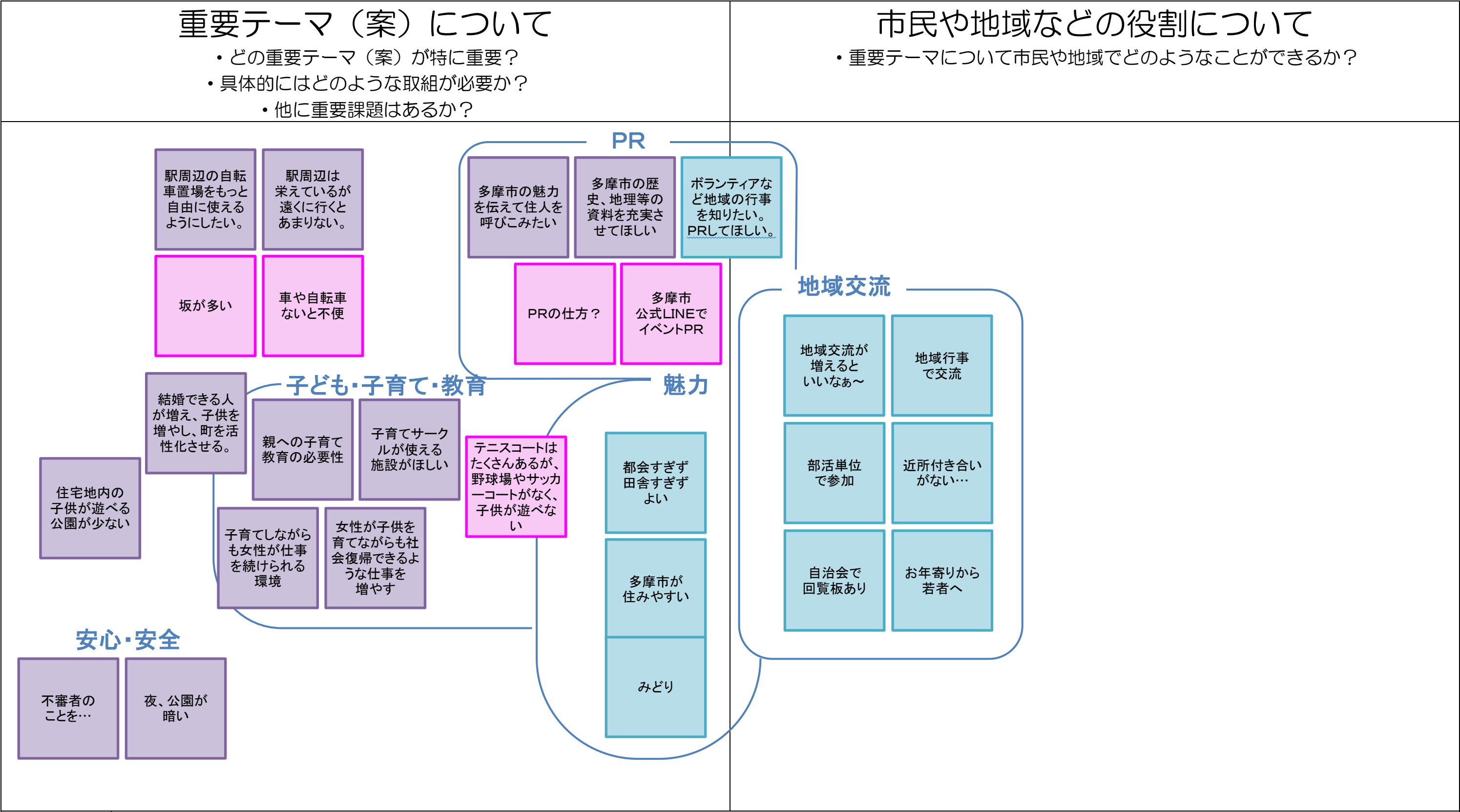
坂の多い街＝高齢者の利便性を考え、坂による不便性を改善していくことが最重要課題
現状、階段急＝ゆるやかなスロープ、坂道に手すりや一時休憩

坂



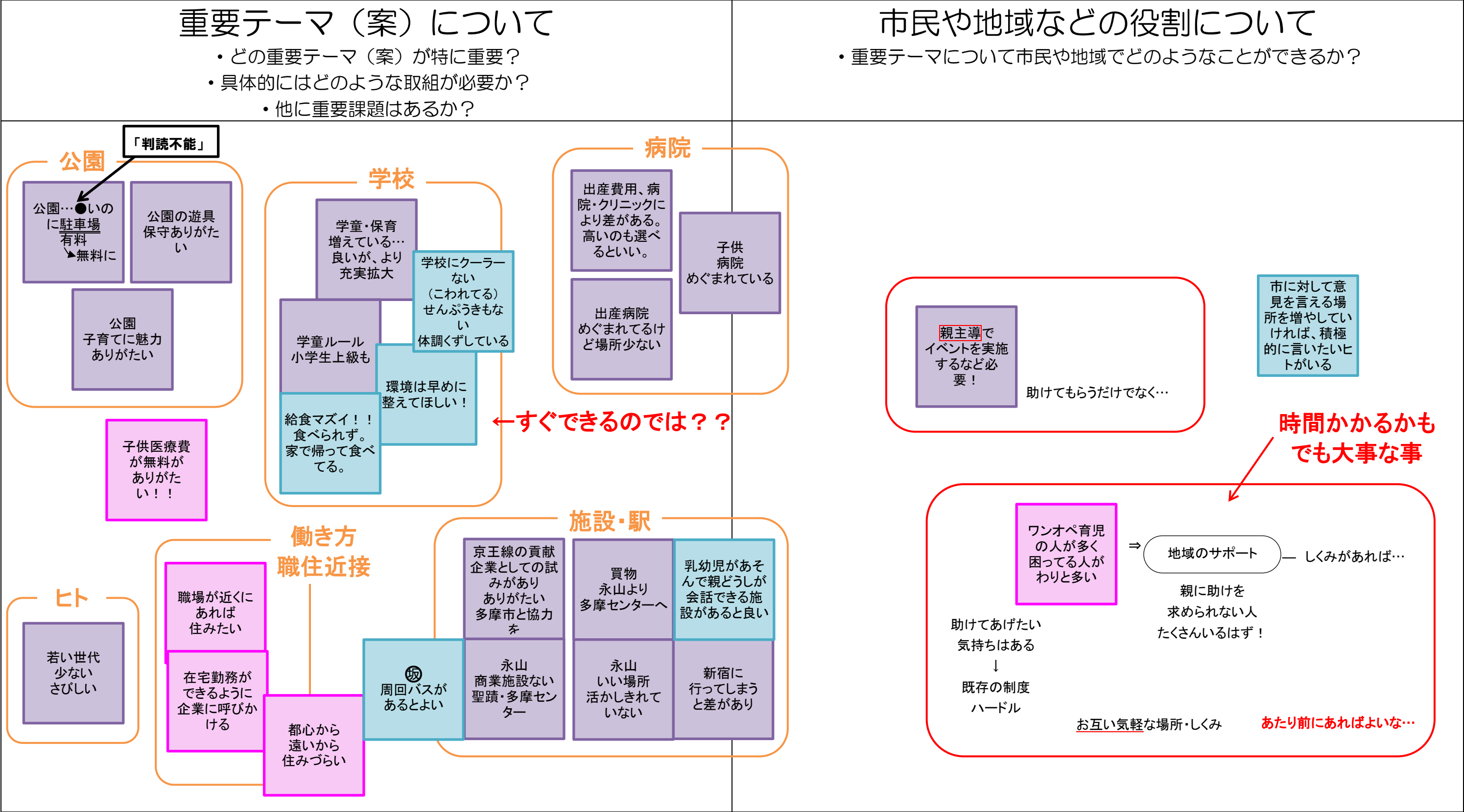
まとめ

実際の高齢者の方々の声（必要とする援助）を大切にする



まとめ

- ・地域交流のありかたを考え直すべき
- ・子どもー若者向けの施設がもっと欲しい



重要テーマ（案）について		市民や地域などの役割について	
<ul style="list-style-type: none">• どの重要テーマ（案）が特に重要？• 具体的にはどのような取組が必要か？• 他に重要課題はあるか？		<ul style="list-style-type: none">• 重要テーマについて市民や地域でどのようなことができるか？	
<p>地域</p> <ul style="list-style-type: none">家賃が意外と高いかも（他市から通う人）防災セミナーやっても市民来ていない。お金をつぎこんでも参加する市民いるのか？地域活動が周知されていない <p>土地</p> <ul style="list-style-type: none">緑が多いのが魅力公園の整備 清掃 メンテナンス廃校のあと地の活用 <p>交通・アクセス</p> <ul style="list-style-type: none">駅から遠い場所が多い。バスが少ない。交通の便（京王、小田急）が良い駅から不便 山、坂 バス便が多くほしい市が二分されている稲城、日野とのつながりは？ <p>産業</p> <ul style="list-style-type: none">商業施設で人を呼ぶのは難しい産業の無い都市はみりよくが無い産業（新たな）をおこす必要がある大学生になると地域にいない（あそび施設がない） <p>多摩市内で生活を完結させたい</p> <p>子供の頃の友人は引越していない</p>		<p>人</p> <ul style="list-style-type: none">コミュニティの確保子育てがおわるとつながりが減る。コミュニケーションがなくなる。高齢者の働き方 働きたい人は働ける環境家にいる高齢者たちをどう引っ張り出していくか？高齢者どうしの関係が希薄である外で接点をもつために、どういう仕掛けができるか？GPSがついた機能の機器を貸し出し、みまもりサービスをすべき！	
まとめ		<p>③産業力向上 ①多摩に住みたいが家賃が高い。（働き口を増やし、そのまま住んでもらう）</p> <p>②外で接点を持つ為に、どういう仕掛けが出来るか？</p>	